

鵜住居地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成27年5月31日(日) 15時00分～16時50分
- 場所 鵜住居小学校 集会場
- 次第

1. 挨拶
2. 議題(1) 新釜石市民体育館の位置について
3. 議題(2) 鵜住居地区の復興公営住宅、集会施設平面計画案について
4. 協議事項 鵜住居駅周辺の整備について
5. 意見交換

市民体育館の件について。過去の説明の際に、教育委員会から「どうしてこの駅前に体育館が必要なのか？」という明確な説明がなかった。また、日当たりの事についても「一部の地域で影響が出る」との説明があった。今の計画で、前の説明段階以上の建物の規模になるとしたならばもっと影響が出るのではないかと考えている。現在予定している建物の規模の詳細な大きさを教えて欲しい。

→ 規模については、前回の説明と変更はありません。述べ面積は5,280㎡です。高さについては現在協議中ですが、実際の位置に関しては、駅近くの場所にスライドすることも考えられます。体育館を建設する理由についてですが、当初は「鵜住居小学校」「東中学校」のあった場所に、同一規模で建設を考えておりました。最終的には用地が足りずに叶いませんでしたが、この件に関し、教育委員会から住民の方々にご説明をしていなかったということは大変申し訳なく思っています。今後は皆さんにご説明して対応していきたいと考えています。よろしく願いいたします。

前回の説明の際にお願いした事は、「西側に住む住民に、詳細を説明してもらおう」と、その後にもまた委員会を開くのであれば、「住民の声を反映して欲しい」という内容だった。その件についてどうなったのか？

→ 規模、構造につきましては、先ほどご説明したとおりでございます。また、西側に住んでいる住民の方々におかれましては事前に事務局から説明しており、了解も得ております。

今まで建っていた体育館の場所に新たに建てるということは考えられないのか？また、鶴住居に新たに作ったとして、果たしてどの程度の市内の住民がわざわざ来てまで使うのか疑問である。このあたりをどう考えているか。最後に、市街地から鶴住居までのアクセスについてはどのように考えているのか？

→ アクセスについてですが、まず宮古の方から三鉄の着工が始まっていると聞いております。また、県交通のバスも考えられると思います。あとは、車でのアクセスです。お年寄りが出来るスポーツは、体操や卓球、テニスなど色々あります。そういった事が出来るスポーツ施設を求める声があります。ではどうして鶴住居に建設するのか、という理由ですが、体育施設が釜石には少ないという現状があります。その上で、どうして桜木町ではないのか？ということについては今後の代替地や仮設住宅の関係上、体育館の建設予定地には出来ない理由がございます。その為、大きな土地がある鶴住居に建設しようという計画になっています。

体育館を作ることについては、鶴住居にとっては良いことなのではないかと思っている。それに関連することだが、周辺の経済効果がどの程度見込まれるのか教えてもらいたい。また、この地域では避難場所が既に制定されていると思うが、この体育館を避難場所にする考えは無いか？検討してみたい。

→ 体育館の主目的は、スポーツ交流です。但し、多目的にイベント等でも活用することは想定しており、当然経済効果も出てくると考えられます。我々は、可能な限り施設を活用し、鶴住居エリア全体で人を呼び込む事で経済効果を見込んでいます。

→ 経済効果を具体的に数値に出すのは難しいですが、スポーツ少年団、学校、社会人などが利用することは想定されます。但し、作る意味としては、経済効果というよりも、スポーツ教育や生涯学習の場といった意味合いで考えていきたいと思っています。また、避難場所についてですが、このエリアでは鶴住居神社、常楽寺にしております。拠点避難所は、今後新しく建てられる小学校と考えていますので、誤解が無いように明確に示していきます。

経済効果についての個人的な考えだが、体育館があることによって、赤字続きの山田線も使われていくのではないかと予想している。三鉄としてはとても喜ばしい事だと思う。すぐに経済効果は出ないかもしれないが、列車が使われていけば良い効果も出てくると思う。

→ ご意見ありがとうございます。

体育館が出来るのであれば、要望としてコート半面だけ点くような設定が出来るなどライトの配慮を考えて欲しい。また、別球技と同時に使う際、となりの面からボールが抜けてこないように、ネット構造の配慮もして欲しい。

→ それに向けて考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

鶴住居駅周辺の整備について。今後、体育館やラグビーワールドカップ、橋野高炉跡への拠点として鶴住居は中心だと思っている。将来を見据え、開発は必要だと考えている。その上で質問だが、鶴住居の町にまた戻ってきたいと考えている方々はどのくらいいるか教えて欲しい。また、駅周辺の計画を見ての個人的な意見だが、震災前の様々なお店や病院施設、銀行などがしっかり集まって、はじめて活気を取り戻せると思う。具体的な計画案をどう考えているか？

→ 去年の夏から、商売を再建したい方との話し合いを何度かさせていただきました。その際、銀行や JA、スーパー等とも話し合いをさせていただいております。その結果を踏まえ「まちなか再生計画」というものを作ろうと考えております。今後協議し、詳しい内容が決まり次第、またお話をさせていただきます。

津波伝承施設の規模はどのくらいなのか？また、このような施設は大槌や他の地域にも出来る可能性があると考えられる。釜石の独自性を打ち出し、差別化を図って観光地にするのか？それとも他の地域と連携していくことも考えているのか？

→ 規模については、今委員会で検討している状況です。釜石市としては、子供たちに防災教育をする方向性にしていこうと考えています。他地域との連携ということも考えています。

地域交流施設には具体的にどういった内容のものを考えているのか？また、駐車場はどこに設置するのか？台数はどの程度止められるのか？

→ 駐車場の詳細な場所については、現状ここを考えています。(資料内の図面で説明)。台数は70台程度を考えています。但し、今後の話し合いの中で、本当に適切だと思われる位置に設置出来るよう、考えていきたいと思っております。

交流施設の前に、駐車場を設置しなければ意味がないと思う。例えば、交流施設と駅前の地点をロータリー状にして、車を止められるような計画を考えて欲しい。

→ ご意見ありがとうございます。今後検討していきたいと思っております。

駅前施設を活用する際に、外部から来る方が多くなると思うが、個人的には祈りのパークの面積が大きいと感じる。亡くなった方々やその遺族の皆様にとっては、非常に無念だとは思いますが、鶴住居駅前の賑わいを創出するために再検討をお願いしたい。

→ 関係機関や地域の方々と話し合いを重ね、最終的な案を作っていきたいと考えているのでよろしくお願いいたします。

多目的施設には、海産物等も置くようになると思うが、トイレの位置を再考したらどうか？施設を一通りまわってたどり着けるような構造にすることで、買い物もついでに出来るような。

→ 今後の検討になりますが、客導線も視野に入れた上で、詳細を配置していきます。ただいまのご意見等も参考にしながら、考えていきたいと思えます。

今日の議題とは少し違うが、盛土について聞かせて欲しい。以前、盛土説明会があった。雨が降った後の土の締め固めは大丈夫なのか？また、公営住宅の完成と同じ時期に再建住宅を建てることは可能か？

→ 盛土が不安だという意見ですが、結論的には十分な締め固めが出来るような計画で進めさせていただきますのでご安心下さい。また、鶴住居地区の宅地の引渡し予定時期につきましては、5ヶ所ほど区域に分け、その地域によって若干早いところ、遅いところと引渡し時期が異なっております。

具体的にお聞きになりたい方は、個別にご相談ご説明いたします。

駅前周辺の設備についての意見だが、宮城県の大谷海岸駅のような構造で考えられないか？また、駅前周辺は北高の跡地の商業施設のような感じで作れないものだろうか？

→ 駅の機能は有したいと考えているが、厳密には「駅舎」と言えないものなので、同じように考えるのは難しいです。但し、結果として同じような機能を持たせられるようには考えていきます。また、先ほどの説明がありましたが、駅前に様々な店舗を置き、相乗効果が生まれるように考えていきます。

換地についてだが、隣がどのような人なのか分からない。個人情報のあるが、教えてもらえないのか？

→ 鶴住居含めて4地区行っているが、行政からは公式に出すことは出来ません。大変申し訳ないです。

今までの話を聞いていてこれからのことを考えると、地域組織を形成するヒントになるようなデータは早めに公開して欲しいと思う。そうすれば、まちづくりや町おこしにも取り掛かれる。

→ ご意見ありがとうございます。検討させていただきたいと思えます。

国道と、市道の高低差が70～80センチほどある。これから家を建てる時に立面図のようなものを用意してくれると参考に出来るのでありがたいのだが。また、擁壁の維持費は市で負担してくれるのか？それから、家を建てる際の出入り口を設定する際、鶴住居の雨水対策があれば参考にしたい。

→ 擁壁の管理について、個人の宅地に面する場所の擁壁の管理は個人でと考えております。高低差については、個別に来ていただければご説明いたします。排水計画に関しても現在計画中でございます。これについても個別にご説明いた

します。

釜石の体育館ですから、正式決定するまえに、パブリックコメントをする予定があるか？ 鶴住居に建設するのは反対だという方もいると思うので、市としてきちんとコンセンサスを取っていくべきだと思う。

→ そういったことも含めて協議・検討させていただきたいと思います。

(市長)：本日はいろいろなご意見いただきました。①については本日皆さんにご賛同いただきましたと受け止めさせていただきたいと思います。鶴住居の住民の皆様・他の地域の住民の皆様にも以前からご説明をさせていただいておりました。唐丹や甲子にも土地はあるという意見もありますが、釜石市としましては、鶴住居をスポーツの拠点として、また、鶴住居のまちづくり振興策の一つとして考えています。今後は鶴住居の地域会議でこのお話をさせてもらい、議会にもご報告をしてご意見をいただきます。最終的には予算に関して、議会の可決が必要になってきます。その際にまた、議論が出てくるかもしれませんが、行政側としてはこのような計画で進めたいと考えています。メモリアルパークの検討委員会には、先ほどの意見も伝えさせていただきます。私としましては、このメモリアルパークが「3.11」の一番の要と考えています。たくさんの方々が亡くなって、追悼の施設をどうするかという事が最優先だと思っています。色々なご意見もありますが、本日ここまで議論できる方向で皆さんにご説明いたしました。個人的な見解では、このあたりの計画で十分ではないかなと思っています。また、先ほどのお話の中で、小川にあった体育館の跡地をどう使うかという問題がありました。これに関しては、高速道路を作る関係で、新町に住んでいた住民の方々に移動する必要がある世帯が100件あります。その方々の土地を確保していくことも震災前から継続して取り組んでいます。非常に混乱した状況にありますが、釜石市としては、小川体育館跡地は高速道路建設で移動する方々の宅地にしたいと、計画を進めています。②の集会場につきましては、本日皆様にお示ししたとおりの計画です。こちら、出来る限り皆さんの意見を反映し、拡大した作りとなりました。本日ご参加の皆様には承認をいただきましたので、なるべく早い対応をしていきたいと思っています。今後も様々な議論が出て来ると思います。本日ご説明した内容に関しては、こちらでもう少し煮詰めさせていただき、もっと詳細なデータ(建物の坪数など)をお示しできるようにしていきたいと思っています。伝承施設に関しては、鶴住居地区だけのものではなく、釜石市全体の伝承施設として考えております。我々も力を入れて取り組んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。最後に、個人情報のお話となりますが、震災時に避難した方々は10000人でした。その際、市では名簿作りをし、初めは誰でも閲覧できるようにしていました。市では、住民の方々にいい事をしようと思ってやったことですが、個人的な事情を抱えている方からたくさんの苦情をいただいた結果、公開を中止しました。現在はこの問題に、相続という新たな問題も出てきています。市ではこのように、何も考えていないわけではなく、考えた上で色々動いていることをご理解いただければと思います。皆さんの承認をいただければ、住宅地図を作ることも可能ですが、市が公式に個人情報を出し

ていくことは法律違反になってしまいますので、町内会等で自主的に情報を集めていただければと思います。本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

(閉会 16 : 50)